

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区交流まつり2017		北区交流まつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	H27	H28	H29
北区域に住み・働く人々が集い、相互に連帯感を強め、まちづくり意識の高揚を図り、地域社会の発展に寄与する。	北区域15校区の模擬店出店・歌や踊りのステージ、子どもコーナー（ふわふわ・ミニSL）、お茶席、各種団体出展コーナー・警察・消防車両・クラシックカーの展示、北区自治連合協議会による抽選会などを行う。 また、「北区域健康のつどい」「北区ウォーキング大会」を同時開催する。	来場者数(人)	33,000	35,000	30,000
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
<input checked="" type="radio"/> 年一回の区域最大のイベントであり、本年度で17回目の開催となった。区民が集い、交流できる機会が提供できており、実施には妥当性がある。	<input checked="" type="radio"/> 北区15校区の自治連合会長と北区長からなる実行委員会方式で企画・運営している。またステージや警備などの各担当部会にも、多くの区民が参画し、協働で運営にあっている。	<input checked="" type="radio"/> 北区15校区による模擬店、ステージ出演のほか、北陸地域を中心に各県を招致した「地域特産市」や、昨年度から設けた「福祉PRコーナー」も拡大し、子どもから大人まで楽しむことのできる盛りだくさんの内容であった。	<input type="radio"/> 各校区からの負担金や企業からの協賛金を募り、交流まつりの運営費の一部に充てている。また、行政のみならず数多くの区民が運営スタッフとして携わり、効率的なイベント運営を図っている。		
⑤自立発展性	総合評価				
<input type="radio"/> 単に住民による自立発展をめざすのではなく、行政と住民との連携をより深め、協働できる領域を広げる方向に発展させるべきである。	<input checked="" type="radio"/> 設営時が雨だったため、地面がぬかるんだところがあったが、当日は天候に恵まれ、事故なく盛況のうちに催しを終えることができた。運営には数多くの区民が携わり、校区模擬店やステージなどまつりを盛り上げており、地域でも定着した行事となっている。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 <input checked="" type="radio"/> 継続 見直し 廃止	交流まつりは区域最大の行事として、回数も第17回となった。企画運営には数多くの区民が参画し、まさに協働で運営する事業となっている。北区民が集い、交流できる機会として次年度以降も継続していくべき事業である。				